

近畿厚生局長 殿

公立大学法人和歌山県立医科大学  
理事長 板倉 徹

印

和歌山県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	107人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	343人	27人	345.7人	看護補助者	58人	診療エックス線技師	1人
歯科医師	12人	1.8人	13.8人	理学療法士	14人	臨床検査技師	40人
薬剤師	35人	1人	36.0人	作業療法士	5人	臨床衛生検査技師	0人
保健師	0人	1人	1.0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	38人	0人	38.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	665人	19人	677.6人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	9人	2人	10.3人	栄養士	0人	その他の技術員	3人
歯科衛生士	1人	2人	3.0人	歯科技工士	2人	事務職員	88人
管理栄養士	4人	3人	7.0人	診療放射線技師	34人	その他の職員	9人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	636.4人	8.6人	645.0人
1日当たり平均外来患者数	876.7人	50.2人	926.9人
1日当たり平均調剤数	955.00剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

近畿厚生局  
24.10  
第253号  
第0号





(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	25人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	40人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	40人	・原発性胆汁性肝硬変	29人
・全身性エリテマトーデス	143人	・重症急性膵炎	2人
・スモン		・特発性大腿骨頭壊死症	14人
・再生不良性貧血	23人	・混合性結合組織病	18人
・サルコイドーシス	40人	・原発性免疫不全症候群	3人
・筋萎縮性側索硬化症	39人	・特発性間質性肺炎	5人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	124人	・網膜色素変性症	3人
・特発性血小板減少性紫斑病	29人	・プリオン病	
・結節性動脈周囲炎	1人	・肺動脈性肺高血圧症	1人
・潰瘍性大腸炎	95人	・神経線維腫症	15人
・大動脈炎症候群	12人	・亜急性硬化性全脳炎	
・ビュルガー病	12人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	13人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	
・脊髄小脳変性症	44人	・ライソゾーム病	
・クローン病	49人	・副腎白質ジストロフィー	
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	7人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	404人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	2人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	16人
・後縦靭帯骨化症	155人	・肥大型心筋症	7人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	13人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	3人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	7人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	14人	・黄色靭帯骨化症	29人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	22人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小児ネフローゼ症候群における適応外使用免疫抑制薬の有効性・安全性の検証と治療法の確立を目指した多施設共同臨床研究	吉川 徳茂	小児科学	78,000,000	補委 厚生労働省
膵癌に対する術後再発予防のための2方向性新規ペプチドワクチン療法の開発	山上 裕機	外科学第二	88,000,000	補委 厚生労働省
中條-西村症候群の疾患概念の確立と病態解明に基づく特異的治療法の開発	金澤 伸雄	皮膚科学	13,000,000	補委 厚生労働省
急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究	山中 昇	耳鼻咽喉科学	11,111,000	補委 厚生労働省
関節リウマチにおける骨髄・骨格形成細胞間ネットワークの解明と根治療法の開発	西本 憲弘	免疫制御学	15,600,000	補委 厚生労働省
抗IL-6阻害治療をツールとした炎症性自己免疫疾患の発症機構の解明	西本 憲弘	免疫制御学	4,290,000	補委 日本学術振興会
組織培養法を応用した肺癌多臓器転移モデルによる転移先臓器特異性決定遺伝子群の同定	吉増 達也	外科学第1	2,600,000	補委 日本学術振興会
膵癌に対する2方向性ペプチドワクチン療法を応用した新規治療戦略	山上 裕機	外科学第2	6,110,000	補委 日本学術振興会
手根管症候群の病態に関する基礎的研究と装具療法への応用	辻 重紀子	生涯研修・地域医療支援センター(リハビリテーション科)	1,040,000	補委 日本学術振興会
グラフト血流波形解析によるグラフト開存の予測	岡村 吉隆	外科学第1	520,000	補委 日本学術振興会
遺伝子多型に基づいた麻酔中の血圧変動の予測	木本 吉紀	麻酔科学	910,000	補委 日本学術振興会
パーキンソン病の治療薬としてのゾニサミドの作用機序の解析	三輪 英人	神経内科	910,000	補委 日本学術振興会
日本人先天性・乳児ネフローゼ症候群における新しい責任遺伝子同定と発症機序の解明	吉川 徳茂	小児科学	1,170,000	補委 日本学術振興会
衝動性評価は重症度評価を超える双極性障害自殺予測因子となり得るか？	小瀬 朝海	神経精神医学	780,000	補委 日本学術振興会
アットリスク精神状態の前向き追跡による神経生理学的介入指標の確立と発症機序の解明	鵜飼 聡	神経精神医学	650,000	補委 日本学術振興会
Niche理論に基づく癌幹細胞ワクチン療法の開発	松田 健司	外科学第2	520,000	補委 日本学術振興会
肝虚血再灌流前後の肝組織内ハイドロキシラジカルのリアルタイム定量の臨床的意義	内山 和久	外科学第2	1,300,000	補委 日本学術振興会
一酸化窒素合成酵素アイソザイムによる心筋虚血の改善	本田 賢太郎	外科学第1	520,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
メタボリック症候群でのヒト血管ストレス機序解明と遺伝子治療および麻酔薬作用の研究	伊良波 浩	麻酔科学	2,600,000	補委 日本学術振興会
スタチンによる血管内皮傷害に対する急性期改善作用機序の解明	瀬藤 容子	麻酔科学	910,000	補委 日本学術振興会
母体免疫による乳幼児の易感染症の予防に関する研究	保富 宗城	耳鼻咽喉科学	910,000	補委 日本学術振興会
小児中耳炎の難治化の病態解明とウイルスと細菌の相互作用に関する研究	山中 昇	耳鼻咽喉科学	650,000	補委 日本学術振興会
頭頸部癌における新しい転移関連遺伝子の検討と早期診断システムの開発	田村 真司	耳鼻咽喉科学	780,000	補委 日本学術振興会
上気道感染症難治化へのインフルエンザ菌、溶連菌の細胞内侵入機序と治療に関する研究	戸川 彰久	耳鼻咽喉科学	910,000	補委 日本学術振興会
難治性神経麻痺性角膜炎及びアルカリ外傷に対するTRPチャンネルを介した治療法開発	岡田 由香	眼科学	1,170,000	補委 日本学術振興会
超大孔径膜二重血液濾過による致死性メディエータHMGB-1除去についての研究	中 敏夫	救急集中治療部	1,170,000	補委 日本学術振興会
上皮-間葉移行に着眼した顎関節内障関節円板線維化の細胞生物学的病態解析	藤田 茂之	歯科口腔外科学	650,000	補委 日本学術振興会
腎臓病検診の医療経済	坂口 俊文	腎臓内科・血液浄化センター	1,300,000	補委 日本学術振興会
次世代光干渉断層法によるスペクトロスコピー開発と不安定プラーク治療効果判定	赤阪 隆史	循環器内科学	1,300,000	補委 日本学術振興会
グレリンによるインスリン分泌抑制機序の解明	西 理宏	内科学第1	1,040,000	補委 日本学術振興会
喫煙喘息におけるステロイド抵抗性の病態解明	松永 和人	内科学第3	1,560,000	補委 日本学術振興会
川崎病の病因解明に対する新たなアプローチ	鈴木 啓之	小児科学	1,300,000	補委 日本学術振興会
新生児末梢循環モニターの開発と臨床評価	奥谷 貴弘	小児科学	650,000	補委 日本学術振興会
皮膚ループスエリテマトーデスの光線過敏の病態と人種差に関する研究	古川 福実	皮膚科学	1,040,000	補委 日本学術振興会
アットリスク精神状態の介入指標の確立と病態解明を目指す縦断的TMS-NIRS研究	辻 富基美	神経精神医学	1,300,000	補委 日本学術振興会
抗癌剤・放射線感受性遺伝子解析を応用した直腸癌に対する新規術前化学放射線療法	堀田 司	外科学第2	1,560,000	補委 日本学術振興会
腫瘍局所におけるIL-17産生制御による新しい分子標的治療の開発	岩橋 誠	外科学第2	1,170,000	補委 日本学術振興会



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
MFP発現からみた腓腫瘍の新規悪性度診断	谷 眞 至	外科学第2	1,560,000	補委 日本学術振興会
腰部脊柱管狭窄症の発症要因の解明：車両搭載型MRIを用いた地域住民コホート研究	山 田 宏	整形外科	650,000	補委 日本学術振興会
疼痛関連行動解析からみた慢性腰痛モデルの確立とその発痛機序の解明	川 上 守	紀北分院整形外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
メタボリックシンドロームからみた尿路結石症の新たな予防法確立に向けた臨床研究	柑 本 康 夫	泌尿器科学	1,170,000	補委 日本学術振興会
抗癌剤による卵巣機能不全の分子機構解明と予防方法の確立	宇都宮 智子	産科婦人科学	1,300,000	補委 日本学術振興会
頭頸部癌における抗癌剤感受性関連マイクロRNAの検討とオーダーメイド治療システム	横 山 道 明	耳鼻咽喉科学	1,560,000	補委 日本学術振興会
EBウイルス関連リンパ腫発症・進展に与える宿主自然免疫の影響	山 内 一 真	耳鼻咽喉科学	1,300,000	補委 日本学術振興会
インテグリンによるSmad系の調節を標的とした眼線維化疾患の新規治療戦略の確立	雑賀 司珠也	眼科学	1,170,000	補委 日本学術振興会
エピジェネティクスを利用した新規胃癌リスクマーカーの開発	前 北 隆 雄	内科学第2	2,080,000	補委 日本学術振興会
温浴におけるサイトカイン発現に関する研究	田 島 文 博	リハビリテーション科	1,430,000	補委 日本学術振興会
冠動脈プラーク破裂後の血栓形成における単球サブセットの関与と治療法の確立	今 西 敏 雄	循環器内科学	1,950,000	補委 日本学術振興会
慢性閉塞性肺疾患におけるオキシステロールの役割の解明	杉 浦 久 敏	内科学第3	1,560,000	補委 日本学術振興会
腎機能障害に伴うリン過剰に応答するリン感受性機構とリンセンサーの探索	重 松 隆	腎臓内科・血液浄化センター	2,990,000	補委 日本学術振興会
パーキンソン病および関連疾患における姿勢異常の病態の解明と治療法の開発	村 田 顕 也	神経内科	2,210,000	補委 日本学術振興会
エキソーム解析によるMODYの原因遺伝子解明	古 田 浩 人	内科学第1	1,690,000	補委 日本学術振興会
溶血性尿毒症症候群に合併する急性脳症の発症を防止する分子免疫的治療法の開発	南 弘 一	小児科学	1,560,000	補委 日本学術振興会
ユビキチン・プロテアソームに着目した多発性嚢胞腎病態生理に基づく疾患特異的治療	中 西 浩 一	小児科学	2,340,000	補委 日本学術振興会
川崎病発症児におけるHLAクラスII多型(DP, DQ, DR)の亜群存在の解明	末 永 智 浩	小児科学	2,340,000	補委 日本学術振興会
難治性慢性炎症疾患における自己炎症シグナル活性化の探索のための基盤創成	金 澤 伸 雄	皮膚科学	1,820,000	補委 日本学術振興会

小計  
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
抗癌剤を組み込んだ溶解型ゼラチンマイクロスクエアの抗癌剤徐放性の基礎的研究	佐藤 守男	放射線医学	2,470,000	補委 日本学術振興会
iPS細胞由来樹状細胞/癌幹細胞融合ワクチンを用いた新規的癌免疫療法の開発	中村 公紀	外科学第2	3,120,000	補委 日本学術振興会
大腸癌浸潤先進部CEACAM1発現細胞を標的とした新規癌治療の開発	横山 省三	外科学第2	2,210,000	補委 日本学術振興会
肝硬変肝機能障害およびその術後経過が好中球の機能および膜脂肪酸構成に及ぼす影響	瀧藤 克也	中央内視鏡部(外科学第2)	1,170,000	補委 日本学術振興会
胃癌選択的殺細胞効果を強化した新しいウイルス療法の開発	中森 幹人	外科学第2	2,470,000	補委 日本学術振興会
ドレーン排液中サイトカイン網羅的解析による膵切除後重症膵液瘻早期診断モデルの確立	川井 学	外科学第2	2,080,000	補委 日本学術振興会
脊髄損傷後の難治性疼痛におけるROSの関与について	吉田 宗人	整形外科	3,250,000	補委 日本学術振興会
腰椎椎間孔外側病変ならびにダブルクラッシュ病変における疼痛メカニズムの解明	橋爪 洋	整形外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
胃切除後骨障害の病態解明と治療 胃-肝臓-骨連関からのアプローチ	上田 和樹	内科学第2	3,380,000	補委 日本学術振興会
尿路上皮癌に対する免疫抑制物質IDOを用いた新規免疫療法の開発	原 勲	泌尿器科学	2,340,000	補委 日本学術振興会
卵巣癌腹膜播種における免疫寛容誘導機序の解明と新規標的免疫療法の開発	井篁 一彦	産科婦人科学	3,770,000	補委 日本学術振興会
DAPキナーゼを対象とする婦人科悪性腫瘍に対する新分子標的治療法の開発	田中 哲二	産科婦人科学	1,950,000	補委 日本学術振興会
上皮間葉系移行を標的とした脈絡膜悪性腫瘍の浸潤・転移抑制治療の開発	田中 才一	紀北分院眼科	1,950,000	補委 日本学術振興会
IFN $\gamma$ ・STAT1・PAI-1シグナル抑制による緊急手術後腸管癒着予防法の開発	上田 健太郎	救急集中治療部	2,210,000	補委 日本学術振興会
長幹骨に対する経皮的髄内釘作成術併用の基礎的検討	中田 耕平	放射線医学	130,000	補委 日本学術振興会
放射線治療時の危険臓器移動法の開発	岸 和史	放射線医学	2,340,000	補委 日本学術振興会
消化器癌に対するオートファジー細胞死を誘導する分子標的機能搭載ウイルス療法の開発	山上 裕機	外科学第2	1,820,000	補委 日本学術振興会
ショック肝における肝組織中フリーラジカルに関する研究	山添 真志	救急集中治療部	1,170,000	補委 日本学術振興会
スタチン急性投与における内皮機能改善効果に及ぼす麻酔薬の影響	丹下 和晃	麻酔科学	780,000	補委 日本学術振興会

小計  
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
COPD増悪機序と制御の研究—好中球活性化におけるtoll-like受容体の役割	小荒井 晃	内科学第3	1,300,000	補委 日本学術振興会
星状細胞内カルシウム濃度振動性変化による脳血流調節機構の解明	中畑 充俊	麻酔科学	780,000	補委 日本学術振興会
揮発性全身麻酔薬が動的心筋内微小灌流に与える効果に関する研究	根来 孝明	麻酔科学	1,300,000	補委 日本学術振興会
斜視手術後の外眼筋および筋周囲組織瘢痕化に関する研究	白井 久美	眼科学	780,000	補委 日本学術振興会
Shh-Ang-Tie2を標的とした眼内血管新生疾患に対する新規治療戦略	宮本 武	眼科学	1,170,000	補委 日本学術振興会
遺伝子導入によるTGFβシグナル阻害を戦略とした角膜内皮障害の予防法の探索	住岡 孝吉	眼科学	780,000	補委 日本学術振興会
甲状腺未分化癌におけるPodocalyxinとEMTの役割と治療応用に関する解析	児玉 理恵子	臨床検査医学	650,000	補委 日本学術振興会
不安定プラークと単球の関連性	柏木 学	循環器内科学	1,300,000	補委 日本学術振興会
難治性喘息におけるMMPの役割の解明	市川 朋宏	内科学第3	1,170,000	補委 日本学術振興会
外来異物に対する皮膚反応におけるTRPV1の役割の解明	上中 智香子	皮膚科学	1,820,000	補委 日本学術振興会
拡散テンソルによる神経認知機能障害の解明—双極性障害の神経発達仮説を越えて—	岩谷 潤	神経精神医学	650,000	補委 日本学術振興会
消化器癌局所における新たな免疫パラグラムTreg/Th17バランスの解明	飯田 武	外科学第2	650,000	補委 日本学術振興会
膀胱癌浸潤過程における高発現遺伝子産物を応用した新規膀胱癌治療戦略	廣野 誠子	外科学第2	1,040,000	補委 日本学術振興会
徐放化basic-FGF製剤の胸腔内投与による肺気腫の再生医療	中村 理恵	外科学第1	650,000	補委 日本学術振興会
In vivo パッチクランプ法を用いたドーパミン下行性疼痛抑制系の解明	谷口 亘	整形外科	2,080,000	補委 日本学術振興会
腫瘍抗原提示と樹状細胞の機能改変を同時に行う遺伝子免疫療法の新規治療戦略	藤井 令央奈	泌尿器科学	1,300,000	補委 日本学術振興会
滲出性中耳炎の病態の分子生物学的検討	森山 智美	耳鼻咽喉科学	1,560,000	補委 日本学術振興会
小児鼻咽腔における肺炎球菌の定量解析と肺炎球菌細菌叢の成立に関する研究	小上 真史	耳鼻咽喉科学	1,560,000	補委 日本学術振興会
急性中耳炎における肺炎球菌血清型の検討と特異的免疫応答の検討	池田 頼彦	耳鼻咽喉科学	1,560,000	補委 日本学術振興会

小計  
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
α9インテグリンリガンドを標的とした脈絡膜・網膜・角膜新生血管の新しい治療法	藤田 識人	眼科学	780,000	補委 日本学術振興会
循環器疾患における口腔内細菌の関連と機序の解明	平石 幸裕	歯科口腔外科学	1,560,000	補委 日本学術振興会
がん幹細胞と血管内皮前駆細胞に照準を定める悪性脳腫瘍に対する分子標的治療法の探索	深井 順也	脳神経外科学	1,170,000	補委 日本学術振興会
Regulatory T細胞制御を基盤とした癌ワクチン療法の新展開	宮澤 基樹	外科学第2	2,080,000	補委 日本学術振興会
特発性造血障害におけるNKG2D免疫の臨床的意義の確立	花岡 伸佳	輸血・血液疾患治療部	2,730,000	補委 日本学術振興会
上皮間葉移行 (EMT) に着目した多発性嚢胞腎の病態特異的治療の開発	戸川 寛子	小児科学	1,820,000	補委 日本学術振興会
膠原病の難治性皮疹に対するヒドロキシクロキンの作用機序の解明	池田 高治	皮膚科学	1,560,000	補委 日本学術振興会
遺伝子変異ラットを用いた毛包脂腺系の活性化機序の解明	豊澤 聖子	皮膚科学	2,080,000	補委 日本学術振興会
嗅覚・アセチルコリン系障害仮説で探るDUP (精神病未治療期間)	正山 勝	神経精神医学	3,250,000	補委 日本学術振興会
溶解型ゼラチンスポンジの抗癌剤キャリアとしての有用性の検討	生駒 顕	放射線医学	1,170,000	補委 日本学術振興会
CEA遺伝子導入ES細胞由来樹状細胞を用いた癌ワクチン療法	尾島 敏康	外科学第2	1,950,000	補委 日本学術振興会
がん幹細胞抑制型腫瘍溶解性ウイルスを用いた抗癌化学併用療法の開発	辻 俊明	外科学第2	1,430,000	補委 日本学術振興会
アンジオテンシンII受容体拮抗薬による腹腔内癒着予防に関する研究	吉村 聖子	麻酔科学	1,300,000	補委 日本学術振興会
低炭素に暴露された肺上皮細胞に対するニコランジルの影響	羽場 政法	生涯研修・地域医療支援センター(麻酔科学)	1,430,000	補委 日本学術振興会
肺炎球菌とインフルエンザ菌の混合感染時のフェーズ変化と急性中耳炎難治化の研究	上野 ゆみ	耳鼻咽喉科学	2,080,000	補委 日本学術振興会
扁桃病巣疾患におけるTh17/制御性T細胞サブセットの役割に関する研究	林 正樹	耳鼻咽喉科学	2,080,000	補委 日本学術振興会
TSAおよびAc-SDKPの眼科線維化疾患の治療効果の実験的検討	泉谷 愛	眼科学	1,300,000	補委 日本学術振興会
壊死性腸炎発症におけるmaternalmicrochimerism影響	渡邊 高士	外科学第2	650,000	補委 日本学術振興会
Hedgehogシグナルを標的とした口腔癌の新規治療法の開発	田中 章夫	歯科口腔外科学	1,300,000	補委 日本学術振興会

小計  
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
超低出生体重児消化管疾患術後の長期静脈栄養における新組成脂肪乳剤の肝障害予防効果	三谷 泰之	外科学第2	780,000	補委 日本学術振興会
蛍光蛋白導入マウスを用いた麻酔薬による抑制シナプス伝達分子調節機構の統合解析	西川 光一	麻酔科	1,820,000	補委 日本学術振興会
発達期の脳と麻酔薬：脳の臨界期を介する神経毒性機序に関する新規統合的アプローチ	西川 光一	麻酔科	1,300,000	補委 日本学術振興会
ポストポリオ症候群と耳鼻咽喉科・歯科的疾患との関連性についての研究	青木 秀哲	リハビリテーション科	1,300,000	補委 日本学術振興会
				補委

小計  
4  
計  
117

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Internal Medicine	A Case of Liver Abscess Caused by <i>Edwardsiella tarda</i>	Takayuki Ota, Yoshio Nakano, Masahiro Nishi, Shohei Matsuno, Hiromichi Kawashima, Takayuki Nakagawa, Tomoyuki Takagi, Hisao Wakasaki, Hiroto Furuta, Taisei Nakao, Hideyuki Sasaki, Takashi Akamizu	第一内科
Journal of Diabetes Investigation	Numbness and paresthesia in bilateral toes and soles, and disproportional sweating restricted to face and trunk are suitable symptoms useful for the diagnosis of diabetic symmetric polyneuropathy	Muneki Nakatani, Hideyuki Sasaki, Seigo Kurisu, Hiroyuki Yamaoka, Shohei Matsuno, Kenichi Ogawa, Hiroshi Yamasaki, Hisao Wakasaki, Hiroto Furuta, Masahiro Nishi, Takashi Akamizu, Kishio Nanjo	第一内科
Journal of Diabetes Investigation	Pro198Leu missense polymorphism of the glutathione peroxidase 1 gene might be a common genetic predisposition of distal symmetric polyneuropathy and macrovascular disease in Japanese type 2 diabetic patients	Shohei Matsuno, Hideyuki Sasaki, Hiroshi Yamasaki, Hiroyuki Yamaoka, Kenichi Ogawa, Muneki Nakatani, Tohru Hamanishi, Asako Doi, Yoshio Nakano, Hisao Wakasaki, Hiroto Furuta, Masahiro Nishi, Takashi Akamizu, Kishio Nanjo	第一内科
Rheumatol Int 31: 109-112	Multiple symptoms of higher brain dysfunction caused by Marchiafava-Bignami disease in a patient with dermatomyositis	Furukawa K, Maeshima E, Maeshima S, Ichinose M	第三内科
Am J Respir Cell Mol Biol 44(1): 99-107	Prostaglandin E2 inhibits human lung fibroblast chemotaxis through disparate actions on different E-prostanoid receptors	Li YJ, Wang XQ, Sato T, Kanaji N, Nakanishi M, Kim M, Michalski J, Nelson AJ, Sun JH, Farid M, Basma H, Patil A, Toews ML, Liu X, Rennard SI	第三内科

小計

5

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
In Vitro Cell Dev Biol Anim 47: 114-124	Differentiation of embryonic stem cells into fibroblast-like cells in three-dimensional type I collagen gel cultures	Togo S, Sato T, Sugiura H, Wang X, Basma H, Nelson A, Liu X, Bargar TW, Sharp JG, Rennard SI	第三内科
Allergol Int 60: 115-145	Japanese Guideline for Adult Asthma	Ohta K, Yamaguchi M, Akiyama K, Adachi M, Ichinose M, Takahashi K, Nishimuta T, Morikawa A, Nishima S	第三内科
J Allergy Clin Immunol 127: 1595-1603. e9	IL-4 induces differentiation of human embryonic stem cells into fibrogenic fibroblast-like cells	Sato T, Liu X, Basma H, Togo S, Sugiura H, Nelson A, Nakanishi M, Kanaji N, Wang X, Kim M, Li Y, Michalski J, Farid M, Sharp JG, Rennard SI	第三内科
Respir Res 12: 81	Increase of nitrosative stress in patients with eosinophilic pneumonia	Furukawa K, Sugiura H, Matsunaga K, Ichikawa T, Koarai A, Hirano T, Yanagisawa S, Minakata Y, Akamatsu K, Kanda M, Nishigai M and Ichinose M	第三内科
Nitric Oxide 25: 138-144	Nitritive stress in inflammatory lung diseases	Sugiura H, Ichinose M	第三内科
Allergol Int 60: 331-337	Exhaled nitric oxide cutoff values for asthma diagnosis according to rhinitis and smoking status in Japanese subjects	Matsunaga K, Hirano T, Akamatsu K, Koarai A, Sugiura H, Minakata Y, Ichinose M	第三内科
Allergy 66 (10) : 1287-1295	SACRA, a cross-sectional nationwide study in Japan	Ohta K, Bousquet PJ, Aizawa H, Akiyama K, Adachi M, Ichinose M, Ebisawa M, Tamura G, Nagai A, Nishima S, Fukuda T, Morikawa A, Okamoto Y, Kohno Y, Saito H, Takenaka H, Grouse L & Bousquet J	第三内科

小計

7

雑 誌 名	題名	発表者氏名	所 属 部 門
Front Pharmacol 2:36	Improvement of airflow limitation by fluticasone propionate/salmeterol in chronic obstructive pulmonary disease: what is the specific marker ?	Akamatsu K, Matsunaga K, Sugiura H, Koarai A, Hirano T, Minakata Y, Ichinose M	第三内科
Eur Respir J 39 (3) : 698-704	Expression of Muscarinic Receptors by Human Macrophages	Koarai A, Traves SL, Fenwick PS, Brown SM, Chana KK, Russell RE, Nicholson AG, Barnes PJ, Donnelly LE	第三内科
Am J Respir Cell Mol Biol 46 (2) : 217-223	PGE2 Stimulates VEGF Production through the EP2 Receptor in Cultured Human Lung Fibroblasts	Nakanishi M, Sato T, Li Y, Nelson AJ, Farid M, Michalski J, Kanaji N, Wang X, Basma H, Patil A, Goraya J, Liu X, Togo S, Toews ML, Holz O, Muller KC, Magnussen H, Rennard SI	第三内科
Respirology 17 (2) : 379-389	Efficacy and safety of indacaterol 150 and 300 $\mu$ g in chronic obstructive pulmonary disease (COPD) patients from six Asian areas including Japan: A 12-week, placebo controlled study	Kinoshita M, Lee SH, Hang LW, Ichinose M, Hosoe M, Okino N, Prasad N, Kramer B, Fukuchi Y; for the Indacaterol Asian COPD study investigators	第三内科
BMC Pulm Med 15:11 (1) :51	Efficacy and safety of inhaled formoterol 4.5 and 9 microg twice daily in Japanese and European COPD patients: Phase III study results	Bogdan MA, Aizawa H, Fukuchi Y, Mishima M, Nishimura M, Ichinose M	第三内科
Oncol Lett 3 (2) : 259-283	Toxicity and efficacy of hepatic arterial infusion chemotherapy for advanced hepatocellular carcinoma (Review)	Ueda H, Fukuchi H, Tanaka C	第三内科
Intern Med 51: 369-375	Validation of the Triaxial Accelerometer for the Evaluation of Physical Activity in Japanese Patients with COPD	Kanda M, Minakata Y, Matsunaga K, Sugiura H, Hirano T, Koarai A, Akamatsu K, Ichikawa T and Ichinose M	第三内科

小計

7



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Chest 142 (2) : 329-337	Increase of 27-hydroxycholesterol in the airways of patients with chronic obstructive pulmonary disease: possible role of 27-hydroxycholesterol in tissue fibrosis	Kikuchi T, Sugiura H, Koarai A, Ichikawa T, Minakata Y, Matsunaga K, Nakanishi M, Hirano T, Akamatsu K, Yanagisawa S, Furukawa K, Kawabata H, Ichinose M	第三内科
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol 302 (8) : L764-L774	Inhibitory effects of theophylline on the peroxynitrite-augmented release of matrix metalloproteinases by lung fibroblasts	Sugiura H, Kawabata H, Ichikawa T, Koarai A, Yanagisawa S, Kikuchi T, Minakata Y, Matsunaga K, Nakanishi M, Hirano T, Akamatsu K, Furukawa K, Ichinose M	第三内科
Respirology 17: 533-540	Increased 25-hydroxycholesterol concentrations in the lungs of patients with chronic obstructive pulmonary disease	Sugiura H, Koarai A, Ichikawa T, Minakata Y, Matsunaga K, Hirano T, Akamatsu K, Yanagisawa S, Furusawa M, Uno Y, Yamasaki M, Satomi Y, Ichinose M	第三内科
J Am Geriatric Soc 60: 1587-1588	Response to treatment in individuals with late-onset asthma	Matsunaga K, Akamatsu K, Hirano T, Ichinose M	第三内科
日本医師会雑誌 140: 525-529	COPDを合併する喘息への対応	一ノ瀬正和	第三内科
和歌山医学 62: 20-23	貼付型 $\beta_2$ 刺激薬投与中のCOPD患者に対するチオトロピウムによる呼吸機能と呼吸器困難の改善効果	赤松啓一郎, 一ノ瀬正和	第三内科
アレルギー 61 (1) : 1-9	成人喘息: 呼気ガス・呼気凝縮液による気道炎症評価	松永和人	第三内科
呼吸 31 (5) : 458-463	吸入指導の実際	吉田薫, 中村真理, 松本めぐみ, 西原千晶, 松永和人	第三内科

小計  
8

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
日本内科学会雑誌 101: 1594-1600	抗コリン薬	杉浦久敏, 一ノ瀬正 和	第三内科
日本内科学会雑誌 101: 2219-2225	呼吸器疾患と脳神経障害	松永和人, 一ノ瀬正 和	第三内科
JACC Cardiovasc Interv. 4 (1) ;76-82	Difference of culprit lesion morphologies between ST-segment elevation myocardial infarction and non-STelevation acute coronary syndrome:an optical coherence tomography study	Ino Y, Kubo T, Tanaka A, Kuroi A, Tsujioka H, Ikejima H, Okuchi K, Kashiwagi M, Takarada S, Kitabata H, tanimoto T, Komukai K, Ishibashi K, Kimura K, Hirata K, Mizukoshi M, Imanishi T, Aakasaka T	循環器内科
Circ. J 75 (8) ;1878-1884	Impact of hinge motion on in-stent restenosis fter sirolimus-eluting stent implantation	Ino Y, Kubo T, Kitabata H, Shimamura K, Shiono Y, Orii M, Okochi K, Sougawa H, Tanimoto T, Komukai K, Ishibashi K, Takarada S, Nakanishi H, Tanaka A, Kimura K, Hirata K, Mizukoshi M, Imanishi T, Akasaka T	循環器内科
IntHeart J. 52 (3) ;175- 179	Virtual Histology Intravascular Ultrasound compared with optical coherence tomography for identification of thin-cap fibroatheroma	Kubo t, Nakamura N, Matsuo Y, Okumoto Y, Wu X, Choi SY, Komukai K, Tanimoto T, Ino Y, Kitabata H, Kimura K, Mizukoshi M, Imanishi T, Akagi H, Yamamoto T, Akasaka T	循環器内科

小計

5

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Int J Cardiol. 146 (2) ;186-190	head to head comparison between the conventional balloon occlusion method and the non-occlusion method for optical coherence tomography	Kataiwa H, Tanaka A, Kitabata H, Matumoto H, Kashiwagi M, Kuroi A, Ikejima H, Tsujioka H, Okochi K, Tanimoto T, Yamamoto T, Takarada S, Nakamura N, Kubo T, Mizukoshi M, Hirata K, Imanishi T, Akasaka T	循環器内科
Int J Cardiol. 150 (3) ;319-324	Electrocardiographic strain and endomyocardial radial strain in hypertensive patients	Nakamura N, Hirata K, Imanishi T, Kuroi A, Arita Y, Ikejima H, Tsujioka H, Takemoto K, Tanimoto T, Kitabata H, Takarada S, Kubo T, Mizukoshi M, Tanaka A, Arita M, Akasaka T	循環器内科
JACC Cardiovasc Imaging. 4 (9) ;1040-3	Diagnostic accuracy of CT angiography to assess coronary stent thrombosis as determined by intravascular OCT	Kubo T, Matsuo Y, Ino Y, Kitabata H, Tanimoto T, Ishibashi K, Okumoto Y, Nakamura K, Komukai K, Takarada S, Tnaka A, Imanishi T, Akagai H, Akasaka T	循環器内科
Circ Cardiovasc Imaging. 4;620-627	Thin-Cap Fibroatheroma as high Risk Plaque for Microvascular obstruction in Patients With Acute Coronary Syndrome	Ozaki Y, Tanaka A, Tanimoto T, Kitabata H, Kashiwagi M, Kubo T, Takarada S, Ishibashi K, Komukai K, Ino Y, Hirata K, mizukoshi M, Imanishi T, Akasaka T	循環器内科

小計

4

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Atherosclerosis. 221 (1) :249-253	Differential expression of Toll-like receptor 4 and human monocyte subsets in acute myocardial infarction	Kashiwagi M, Imanishi T, Ozaki Y, Satogami K, Masuno T, Wada T, Nakatani Y, Ishibashi K, Komukai K, Tanimoto T, Ino Y, Kitabata H, Akasaka T	循環器内科
Circ J 76 (4) ;922-927	Comparison of Contrast Media and Low-Molecular-Weight Dextran for Frequency-Domain Optical Coherence Tomography	Ozaki Y, Kitabata H, Hosokawa S, kashiwagi M, Ishibashi K, Komukai K, Tanimoto T, Ino Y, Takarada S, Kubo T, Kimura K, Tanaka A, Hirata K, Mizukoshi M, Imanishi T, Akasaka T	循環器内科
Circ J. 76 (6) ;1461-1468	Effect of the direct renin inhibitor aliskiren on peripheral blood monocyte subsets and myocardial salvage in patients with primary acute myocardial infarction	Ozaki Y, Imanishi T, kashiwagi M, Tshijioka H, Sougawa H, Orii M, Shiono Y, Shimamura K, Ishibashi K, Komukai K, Ino T, Kitabata H, Akasaka T	循環器内科
Ther Apher Dial.	Overview of regular dialysis treatment	Nakai S, Iseki K, Itani N, Ogata S, Kazama JJ, Kimata N, Shigematsu T, Shinoda T, Shoji T, Suzuki K, Taniguchi M, Tsuchida K, Nakamoto H, Nishi H, Hashimoto S, Hasegawa T, Hanafusa N, Hamano T, Fujii N, Masakane I, Marubayashi S, Morita O, Yamagata K, Wakai K, Wada A, Tsubakihara Y	腎臓内科
			小計

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Clin Exp Nephrol.	Influence of renin-angiotensin system on serum parathyroid hormone levels in uremic patients.	Koiwa F, Komikai D, Hirose M, Yoshimura A, Ando R, Sakaguchi T, Komatsu Y, Shinoda T, Inaguma D, Joki N, Nishida H, Ikeda M, Shigematsu T	腎臓内科
Clin Exp Nephrol.	Vascular calcification estimated by aortic calcification area index is a significant predictive parameter of cardiovascular mortality in hemodialysis patients.	Ohya M, Otani H, Kimura K, Saika Y, Fujii R, Yukawa S, Shigematsu T	腎臓内科
Nephrol Dial Transplant.	Combined therapy with lanthanum carbonate and calcium carbonate for hyperphosphatemia decreases serum FGF-23 level independently of calcium and PTH (COLC Study).	Shigematsu T, Negi S; COLC Research Group.	腎臓内科
Clin Exp Nephrol.	Nephrologist care for 12 months or more increases hemodialysis initiation with permanent vascular access.	Inaguma D, Ando R, Ikeda M, Joki N, Koiwa F, Komatsu Y, Sakaguchi T, Shinoda T, Yamaka T, Shigematsu T	腎臓内科
Ther Apher Dial.	Comparison between whole and intact parathyroid hormone assays.	Taniguchi M, Tanaka M, Hamano T, Nakanishi S, Fujii H, Kato H, Koiwa F, Ando R, Kimata N, Akiba T, Kono T, Yokoyama K, Shigematsu T, Kakuta T, Kazama JJ, Tominaga Y, Fukagawa M	腎臓内科
Ther Apher Dial.	Effect of lanthanum carbonate treatment on bone in Japanese dialysis patients with hyperphosphatemia.	Shigematsu T, Tokumoto A, Nakaoka A, Arisaka H	腎臓内科
ベッドサイドで役立つ実践救急血液浄化法	急性腎障害の症状および異常所見	坂口俊文、根木茂雄、重松隆	腎臓内科
ベッドサイドで役立つ実践救急血液浄化法	白血球系細胞除去療法(顆粒球除去療法・白血球除去療法)	阿部貴弥、藤岡知昭	腎臓内科
泌尿器科診療ガイド	アフレスシス	阿部貴弥	腎臓内科
透析患者へのアプローチ	特殊な血液浄化法とその適応	阿部貴弥	腎臓内科

小計

10

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
腎と透析	透析医療に必要な薬の使い方 骨粗鬆症	半羽慶行、重松隆	腎臓内科
医学と薬学	腎疾患の病態と治療 (I) 良・悪性腎硬化症	大矢昌樹、重松隆	腎臓内科
Annual Review腎臓	リン吸着剤の進歩	大矢昌樹、重松隆	腎臓内科
内科	代謝性アシドーシスに炭酸水素ナトリウムは必要か?	坂口俊文、重松隆	腎臓内科
透析会誌	リン吸着剤の効果的な使用	根木茂雄、重松隆	腎臓内科
腎疾患・透析最新の治療	血液透析中の合併症の治療	根木茂雄、重松隆	腎臓内科
がん救急マニュアル	急性腎障害 (AKI)	根木茂雄、重松隆	腎臓内科
腎臓	透析患者に用いられる新しい薬	重松隆、根木茂雄、美馬亨、坂口俊文	腎臓内科
clinical Engineering	シリンジ連続抽出法による透析液排液中の溶質濃度モニタリング	植木隼人、有馬三喜、坂口俊文、重松隆	腎臓内科
Stroke	Angiogenic and vasoprotective effects of adrenomedullin on prevention of cognitive decline after chronic cerebral hypoperfusion in mice.	Maki T, Ihara M, Fujita Y, Nambu T, Miyashita K, Yamada M, Washida K, Nishio K, Ito H, Harada H, Yokoi H, Arai H, Itoh H, Nakao K, Takahashi R, Tomimoto H.	神経内科
PLoS One	The influence of chronic cerebral hypoperfusion on cognitive function and amyloid b metabolism in APP overexpressing mice.	Yamada M, Ihara M, Okamoto Y, Maki T, Washida K, Kitamura A, Hase Y, Ito H, Takao K, Miyakawa T, Kalaria RN, Tomimoto H, Takahashi R	神経内科
Acta Neuropathologica	Optineurin is co-localized with FUS in basophilic inclusions of ALS with FUS mutation and in basophilic inclusion body disease.	Ito H, Fujita K, Nakamura M, Wate R, Kaneko S, Sasaki S, Yamane K, Suzuki N, Aoki M, Shibata N, Togashi S, Kawata A, Mochizuki Y, Mizutani T, Maruyama H, Hirano A, Takahashi R, Kawakami H, Kusaka H	神経内科

小計

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Neuroreport	Angiogenic roles of adrenomedullin through VEGF induction.	Maki T, Ihara M, Fujita Y, Nambu T, Harada H, <u>Ito H</u> , Nakao K, Tomimoto H, Takahashi R.	神経内科
Journal of Neurology	Clustering of multifocal cerebral infarctions in CADASIL: a case report.	Saito S, Ozaki A, Takahashi M, <u>Ito H</u> , Matsumoto S, Tomimoto H.	神経内科
PLoS One	Colocalization of 14-3-3 proteins with SOD1 in Lewy Body-like hyaline inclusions in familial amyotrophic lateral sclerosis cases and the animal model.	Okamoto Y, Shirakashi Y, Ihara M, Urushitani M, Oono M, Kawamoto Y, Yamashita H, Shimohama S, Kato S, Hirano A, Tomimoto H, <u>Ito H</u> , Takahashi R.	神経内科
International Journal of Neuroscience	Protein disulfide isomerase immunopositive glial cytoplasmic inclusions in patients with multiple system atrophy.	Honjo Y, <u>Ito H</u> , Horibe T, Takahashi R, Kawakami K.	神経内科
Neuroscience letters	Watershed Infarcts in a multiple microembolic model of monkey.	Maki T, Wakita H, Mase M, Itagaki I, Saito N, Ono F, Adachi K, <u>Ito H</u> , Takahashi R, Ihara M, Tomimoto H.	神経内科
Acta Neuropathologica	Clinicopathologic study on an ALS family with a heterozygous E478G optineurin mutation.	<u>Ito H</u> , Nakamura M, Komure O, Ayaki T, Wate R, Maruyama H, Nakamura Y, Fujita K, Kaneko S, Okamoto Y, Ihara M, Konishi T, Ogasawara K, Hirano A, Kusaka H, Kaji R, Takahashi R, Kawakami H.	神経内科
Amyotrophic lateral sclerosis	Protein disulfide isomerase immunopositive inclusions in patients with amyotrophic lateral sclerosis.	Honjo Y, Kaneko S, <u>Ito H</u> , Horibe T, Takahashi R, Kawakami K.	神経内科

小計

8

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurology	An autopsy case of SOD1-related ALS with TDP-43 positive inclusions.	Okamoto Y, Ihara M, Urushitani M, Yamashita H, Kondo T, Tanigaki A, Oono M, Kawamata J, Ikemoto A, Kawamoto Y, Takahashi R, <u>Ito H</u>	神経内科
Experimental Neurology	Cilostazol, a phosphodiesterase inhibitor, prevents no-reflow and hemorrhage in mice with focal cerebral ischemia.	Hase Y, Okamoto Y, Fujita Y, Kitamura A, <u>Ito H</u> , Maki T, Washida K, Takahashi R, Ihara M.	神経内科
Acta Neuropathologica	Cerebral hypoperfusion accelerates cerebral amyloid angiopathy and promotes cortical microinfarcts.	Okamoto Y, Yamamoto T, Kalaria RN, Senzaki H, Maki T, Hase Y, Kitamura A, Washida K, Yamada M, <u>Ito H</u> , Tomimoto H, Takahashi R, Ihara M.	神経内科
Neuroreport	Immunohistochemical localization of X-linked inhibitor of apoptosis protein in brainstem-type and cortical Lewy bodies.	Kawamoto Y, <u>Ito H</u> .	神経内科
Jornal of Parkinson's disease	Bicycle sign for differential diagnosis of Parkinsonism: is it of use in a hilly country like Japan?	Miwa H, Kondo T	神経内科
Internal Medicine	Fatigue in patients with Parkinson's disease.	Miwa H, Miwa T	神経内科
Neurology Science	A dysphagia study in patients with sporadic inclusion body myositis (s-IBM)	Murata K, Kouda K, Tajima F, Kondo T	神経内科
Parkinsonism & Related Disorders	White matter hyperintensities in patients with multiple system atrophy.	Umoto M, Miwa H, Ando R, Kajimoto Y, Kondo T	神経内科
PLoS One	Ephrin-A1-mediated dopaminergic neurogenesis and angiogenesis in a rat model of Parkinson's disease.	Jing X, Miwa H, Sawada T, Nakanishi I, Kondo T, Miyajima M, Sakaguchi K	神経内科
BRAIN and NERVE	大規模患者調査で明らかになった日本におけるParkinson病薬物治療の実態 Parkinson病患者の服薬状況および疾患・治療に対する意識調査	藤本健一, 村田美穂, 服部信孝, 近藤智善	神経内科
BRAIN and NERVE	Wearing-off Questionnaires (WOQ-19とWOQ-9)の言語的妥当性を担保した日本語版の作成	近藤智善, 高橋一司	神経内科

小計

11



雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Cardiol Jpn Ed.	私の考える高齢者大動脈弁狭窄症の手術適応-高齢者の中等度ASと3枝病変合併例に対する治療方針-	岡村吉隆	第一外科
Ann Thorac Surg.	A rare case of an extracardiac unruptured aneurysm of the sinus of valsalva in a patient with single coronary artery.	西村好晴, 他	第一外科
J Thorac Oncol.	Epidermal growth factor receptor mutations are associated with docetaxel sensitivity in lung cancer.	吉増達也, 他	第一外科
Pulmonar Respirat Med.	Serum KL-6 Levels in Patients with Lung Cancer.	吉増達也, 他	第一外科
日本小児循環器学会雑誌	小児のペースメーカー植込み術の特徴と問題点	打田俊司	第一外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg.	In vitro evaluation of the effect of cardiac surgery on cancer cell proliferation.	山本修司, 他	第一外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg.	Comparison of the waveforms of transit time flowmetry and intraoperative fluorescence imaging for assessing coronary artery bypass graft patency.	畑田充俊, 他	第一外科
Ann Thorac Surg.	Patch repair of a giant left ventricular pseudoaneurysm after mitral valve replacement.	本田賢太郎, 他	第一外科
Ann Thorac Surg.	Internal thoracic artery as an abnormal collateral source to the visceral organs in coronary surgery.	本田賢太郎, 他	第一外科
Anticancer Res.	Is Class III (beta)-Tubulin a True Predictive Marker of Sensitivity to Vinorelbine in Non-small Cell Lung Cancer? Chemosensitivity Data Evidence.	平井慶充, 他	第一外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg.	Mediastinal germ cell tumor with acute myeloid leukemia and growing teratoma syndrome.	平井慶充, 他	第一外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg.	Fibulin-5 protein is reduced in the lung of patients with spontaneous pneumothorax who are under 25 years old.	平井慶充, 他	第一外科
癌と化学療法	非小細胞肺癌の術後補助化学療法におけるPredictive Factorとしてのp53とRas Mutationの意義	平井慶充, 他	第一外科

小計

13

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Biomed Biotechnol. 2012;2012:848042. Epub 2012 Jun 19.	Identification of HLA-A24- restricted novel T Cell epitope peptides derived from P-cadherin and kinesin family member 20A.	Osawa R, Tsunoda T, Yoshimura S, Watanabe T, Miyazawa M, Tani M, Takeda K, Nakagawa H, Nakamura Y, Yamaue H.	第二外科
World J Gastrointest Surg. 2012 Jan 27;4(1):1-8.	Literature review of the energy sources for performing laparoscopic colorectal surgery.	Hotta T, Takifuji K, Yokoyama S, Matsuda K, Higashiguchi T, Tominaga T, Oku Y,	第二外科
Cancer Sci. 2012 Apr;103(4):739- 46.	Coexpression of MUC16 and mesothelin is related to the invasion process in pancreatic ductal adenocarcinoma.	Shimizu A, Hirono S, Tani M, Kawai M, Okada K, Miyazawa M, Kitahata Y,	第二外科
Ann Surg. 2012 Mar;255(3):517- 22.	The carcinoembryonic antigen level in pancreatic juice and mural nodule size are predictors of malignancy for branch duct type intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas.	Hirono S, Tani M, Kawai M, Okada K, Miyazawa M, Shimizu A, Kitahata Y, Yamaue	第二外科
Langenbecks Arch Surg. 2012 Feb 1. [Epub ahead of print]	The evaluation of surgical treatment for gastric cancer patients with noncurative resection.	Naka T, Iwahashi M, Nakamori M, Nakamura M, Ojima T, Iida T, Katsuda M,	第二外科
Surg Today. 2012 Jan 13. [Epub ahead of print]	Management of obstructive colorectal cancer: evaluation of preoperative bowel decompression using ileus tube drainage.	Hotta T, Takifuji K, Kobayashi Y, Tabuse K, Shimada K, Maeda T, Nakatani Y,	第二外科
Expert Opin Drug Deliv. 2012 Mar;9(3):273-86.	S-1 as a core anticancer fluoropyrimidine agent.	Miura K, Shirasaka T, Yamaue H, Sasaki I.	第二外科
Genome Res. 2012 Feb;22(2):208-19.	Whole-exome sequencing of human pancreatic cancers and characterization of genomic instability caused by MLH1 haploinsufficiency and complete deficiency.	Wang L, Tsutsumi S, Kawaguchi T, Nagasaki K, Tatsuno K, Yamamoto S, Sang F, Sonoda K, Sugawara M, Saiura A, Hirono S, Yamaue H, Miki Y, Isomura M, Totoki Y, Nagae G, Isagawa T, Ueda H, Murayama-Hosokawa S, Shibata T, Sakamoto H, Kanai Y, Kaneda A, Noda T, Aburatani H.	第二外科

小計

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Langenbecks Arch Surg. 2012 Mar;397 (3) :437-45.	The impact of abdominal shape index of patients on laparoscopy-assisted distal gastrectomy for early gastric cancer.	Ojima T, Iwahashi M, Nakamori M, Nakamura M, Takifuji K, Katsuda M, Iida T, Tsuji T, Hayata K, Yamaue H.	第二外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2012 Mar;19 (2) :95-9.	Pancreatic dissection in the procedure of pancreaticoduodenectomy (with videos).	Yamaue H, Tani M, Kawai M, Hirono S, Okada K, Miyazawa M.	第二外科
BMJ Open. 2011 Aug 11;1 (1) :e000179.	Hollow spheroids beyond the invasive margin indicate the malignant potential of colorectal cancer.	Tamura K, Yokoyama S, Ieda J, Takifuji K, Hotta T, Matsuda K, Oku Y, Watanabe T, Nasu T, Kiriyama S, Yamamoto N, Nakamura Y, Shively JE, Yamaue H.	第二外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2012 Jan;19 (1) :72-84.	A nomogram predicting disease-free survival in patients with colorectal liver metastases treated with hepatic resection: multicenter data collection as a Project Study for Hepatic Surgery of the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery.	Beppu T, Sakamoto Y, Hasegawa K, Honda G, Tanaka K, Kotera Y, Nitta H, Yoshidome H, Hatano E, Ueno M, Takamura H, Baba H, Kosuge T, Kokudo N, Takahashi K, Endo I, Wakabayashi G, Miyazaki M, Uemoto S, Ohta T, Kikuchi K, Yamaue H, Yamamoto M, Takada T.	第二外科
Surgery. 2012 Feb;151 (2) :183-91.	Use of omentum or falciform ligament does not decrease complications after pancreaticoduodenectomy: nationwide survey of the Japanese Society of Pancreatic Surgery.	Tani M, Kawai M, Hirono S, Hatori T, Imaizumi T, Nakao A, Egawa S, Asano T, Nagakawa T, Yamaue H.	第二外科
Surg Today. 2011 Dec;41 (12) :1583-91.	Laparoscopic surgery for rectal cancer: review of published literature 2000-2009.	Hotta T, Yamaue H.	第二外科
Langenbecks Arch Surg. 2011 Oct;396 (7) :1101-7.	Combined intraoperative use of contrast-enhanced ultrasonography imaging using a sonazoid and fluorescence navigation system with indocyanine green during anatomical hepatectomy.	Uchiyama K, Ueno M, Ozawa S, Kiriyama S, Shigekawa Y, Hirono S, Kawai M, Tani M, Yamaue H.	第二外科

小計

7

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2011 Aug 23. [Epub ahead of print]	Pancreaticoduodenectomy versus pylorus-preserving pancreaticoduodenectomy: the clinical impact of a new surgical procedure; pylorus-resecting pancreaticoduodenectomy.	Kawai M, Yamaue H.	第二外科
Intern Med. 2011;50(16):1689-94.	A case of a giant glucagonoma with parathyroid hormone-related peptide secretion showing an inconsistent postsurgical endocrine status.	Shirai K, Inoue I, Kato J, Maeda H, Moribata K, Shingaki N, Ueda K, Deguchi H, Maekita T, Iguchi M, Yanaoka K, Tamai H, Oka M, Kawai M, Yamaue H, Yasuoka H, Nakamura Y, Iso-O N, Ichinose M.	第二外科
Int J Oncol. 2011 Nov;39(5):1295- 302.	Comparison of different classes of CpG-ODN in augmenting the generation of human epitope peptide-specific CTLs.	Katsuda M, Iwahashi M, Matsuda K, Miyazawa M, Nakamori M, Nakamura M, Ojima T, Iida T, Hayata K, Yamaue H.	第二外科
Am Surg. 2011 May;77(5):602-7.	Lymph nodes ratio is associated with the survival of colorectal cancer patients with peritoneal carcinomatosis.	Matsuda K, Hotta T, Takifuji K, Kobayashi Y, Tsuji T, Nagai Y, Horiuchi T, Yamaue H.	第二外科
BMC Gastroenterol. 2011 Jun 10;11:67.	Endoscopic resection of duodenal bulb neuroendocrine tumor larger than 10 mm in diameter.	Yokoyama S, Takifuji K, Tani M, Kawai M, Naka T, Uchiyama K, Yamaue H.	第二外科
Ann Surg Oncol. 2011 Dec;18(13):3624-31.	Adjuvant chemolipiodolization reduces early recurrence derived from intrahepatic metastasis of hepatocellular carcinoma after hepatectomy.	Ueno M, Uchiyama K, Ozawa S, Hayami S, Shigekawa Y, Tani M, Yamaue H.	第二外科
Ann Surg. 2011 Dec;254(6):984- 91.	Triple positive tumor markers for hepatocellular carcinoma are useful predictors of poor survival.	Kiriyama S, Uchiyama K, Ueno M, Ozawa S, Hayami S, Tani M, Yamaue H.	第二外科

小計

7

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Gastrointest Surg. 2011 Aug;15 (8) :1401-10.	Influence of visceral obesity for postoperative pulmonary complications after pancreaticoduodenectomy.	Shimizu A, Tani M, Kawai M, Hirono S, Miyazawa M, Uchiyama K, Yamaue H.	第二外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2011 Jul;18 (4) :601-8.	Predictive risk factors for clinically relevant pancreatic fistula analyzed in 1,239 patients with pancreaticoduodenectomy: multicenter data collection as a project study of pancreatic surgery by the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery.	Kawai M, Kondo S, Yamaue H, Wada K, Sano K, Motoi F, Unno M, Satoi S, Kwon AH, Hatori T, Yamamoto M, Matsumoto J, Murakami Y, Doi R, Ito M, Miyakawa S, Shinchi H, Natsugoe S, Nakagawara H, Ohta T, Takada T.	第二外科
World J Surg. 2011 Jul;35 (7) :1573-9.	Optimal period for the prophylactic administration of neutrophil elastase inhibitor for patients with esophageal cancer undergoing esophagectomy.	Iwahashi M, Nakamori M, Nakamura M, Ojima T, Naka T, Yamaue H.	第二外科
Int J Cancer. 2011 Sep 15;129 (6) :1351-61.	Re-expression of CEACAM1 long cytoplasmic domain isoform is associated with invasion and migration of colorectal cancer.	Ieda J, Yokoyama S, Tamura K, Takifuji K, Hotta T, Matsuda K, Oku Y, Nasu T, Kiriya S, Yamamoto N, Nakamura Y, Shively JE, Yamaue H.	第二外科
Cancer Lett. 2011 Jun 1;305 (1) :32-9.	Dendritic cells adenovirally-transduced with full-length mesothelin cDNA elicit esothelin-specific cytotoxicity against pancreatic cancer cell lines in vitro.	Miyazawa M, Iwahashi M, Ojima T, Katsuda M, Nakamura M, Nakamori M, Ueda K, Naka T, Hayata K, Iida T, Yamaue H.	第二外科
resection. Dis Colon Rectum. 2011 Apr;54 (4) :495-500.	Rectal transection by the Nelaton catheter pulling method during a laparoscopic low anterior resection.	Hotta T, Takifuji K, Yokoyama S, Matsuda K, Oku Y, Hashimoto T, Yamamoto N, Yamaue H.	第二外科
Oncol Rep. 2011 May;25 (5) :1271-7.	Tumor-infiltrating CD4+ Th17 cells produce IL-17 in tumor microenvironment and promote tumor progression in human gastric cancer.	Iida T, Iwahashi M, Katsuda M, Ishida K, Nakamori M, Nakamura M, Naka T, Ojima T, Ueda K, Hayata K, Nakamura Y, Yamaue H.	第二外科
Surgery. 2012 Feb;151 (2) :238-44.	Clinical impact of a macroscopically complete resection of colorectal cancer with peritoneal carcinomatosis.	Matsuda K, Hotta T, Takifuji K, Yamamoto M, Nasu T, Togo N, Oka M, Tabuse K, Yamaue H.	第二外科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2011 May;18 (3) :443-52.	Impact of nodal involvement on surgical outcomes of intrahepatic cholangiocarcinoma: a multicenter analysis by the Study Group for Hepatic Surgery of the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery.	Uchiyama K, Yamamoto M, Yamaue H, Ariizumi S, Aoki T, Kokudo N, Ebata T, Nagino M, Ohtsuka M, Miyazaki M, Tanaka E, Kondo S, Uenishi T, Kubo S, Yoshida H, Unno M, Imura S, Shimada M, Ueno M, Takada T.	第二外科
Biotherapy (0914-2223) 25巻6号 Page890-896 (2011. 11)	【がんペプチドワクチン療法の進歩と課題】 消化器固形癌に対するペプチドワクチン療法の開発	岩橋誠, 勝田将裕, 宮澤基樹, 谷真至, 中森幹人, 中村公紀, 尾島敏康, 松田健司, 川井学, 早田啓治, 山上裕機	第二外科
日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 72巻10号 Page2524-2529 (2011. 10)	術後早期に再建間置回腸のMRSA偽膜性腸炎をきたした食道癌の1例	北畑裕司, 中村公紀, 岩橋誠, 中森幹人, 尾島敏康, 山上裕機	第二外科
日本消化器病学会雑誌 (0446-6586) 108巻10号 Page1639-1645 (2011. 10)	膵癌治療の新しい展開 集学的治療におけるがんペプチドワクチン療法の役割	山上裕機	第二外科
The Japanese Journal of Antibiotics (0368-2781) 64巻3号 Page125-169 (2011. 06)	外科感染症分離菌とその薬剤感受性 2009年度分離菌を中心に	品川長夫, 平田公一, 古畑智久, 水口徹, 長内宏之, 柳内良之, 秦史壯, 佐々木一晃, 染谷哲史, 佐々木寿登, 大野敬祐, 時田捷司, 中村誠志, 渋谷均, 長谷川格, 木村雅美, 大島秀紀, 前田豪樹, 向谷充宏, 鬼原史, 渡部公祥, 星川剛, 木村仁, 柳在勲, 相川直樹, 関根和彦, 安倍晋也, 竹山廣光, 若杉健弘, 谷口正哲, 水野勇, 社本智也, 福井拓治, 真下啓二, 田中守嗣, 石川周, 水野章, 岩井昭彦, 齋藤高明, 毛利紀章, 角田直樹, 久保正二, 李榮柱, 大村泰, 小林康人, 辻毅, 山上裕機, 小澤悟, 竹末芳生, 藤原俊義, 木村秀幸, 岩垣博巳, 末田泰二郎, 檜山英三, 村上義昭, 大毛宏喜, 上村健一郎, 津村裕昭, 横山隆, 竹内仁司, 田中屋宏爾, 安波洋一, 佐々木隆光	第二外科
和歌山医学 63巻1号 Page36-39 (2012. 03)	脾臓摘出により消失が得られた孤立性胃静脈瘤の1例	速水晋也, 瀧藤克也, 谷真至, 上野昌樹, 重河嘉靖, 山上裕機	第二外科

小計

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
和歌山医学 63巻1号 Page21- 29 (2012. 03)	膵癌に対する癌ペプチドワクチン療法 の開発	宮澤基樹, 山上裕機	第二外科
Journal of Clinical Neuroscience	Surgical outcome of endoscopic endonasal approach for non- functioning giant pituitary adenoma	Nakao N ら	脳神経外科
Journal of Clinical Neuroscience	Analysis of factors affecting the long-term functional outcome of patients with skull base meningioma	Nakao N ら	脳神経外科
Movement Disorders	Cortically evoked responses of human pallidal neurons.	Nishibayashi H ら	脳神経外科
Journal of Clinical Neuroscience	Ictal asomatognosis due to dominant superior parietal cortical dysplasia.	Nishibayashi H ら	脳神経外科
Pediatr Infect Dis J 30	Cyclosporin A treatment for Kawasaki disease refractory to initial and additional Intravenous Immunoglobulin	鈴木啓之他	小児科
J Orthop Sci 16 (4)	Chondrosarcoma of sacrum presenting with a deep vein thrombosis	神波信次他	小児科
Pediatrics 127 (6)	Recurrent EIAF and PRES with severe renal hypouricemia by compound heterozygous SLC2A9 mutation	島友子, 中西浩一, 吉川徳茂他	小児科
Pediatr Nephrol 26	Treatment strategies for Henoch-Sch ö nlein purpura nephritis by histological and clinical severity	中西浩一, 吉川徳茂 他	小児科
Clin J Am Soc Nephrol 6	Long-term results of a randomized controlled trial in childhood IgA nephropathy	中西浩一, 吉川徳茂 他	小児科
Clin Exp Nephrol 15	Japan renal biopsy registry : the first nationwide, web-based, and prospective registry system of renal biopsies in Japan	吉川徳茂他	小児科
Pediatr Hematol Oncol	Early-onset hemophagocytic lymphohistiocytosis after the start of chemotherapy for advanced neuroblastoma	神波信次他	小児科
BJU Int. 2011 Sep;108 (6) :914-21.	IL-23 gene therapy for mouse bladder tumour cell lines.	Kuramoto T, Fujii R, Nagai H, Belladonna ML, Yoshimoto T, Kohjimoto Y, Inagaki T, Hara I.	泌尿器科
BJU Int. 2011 Jul;108 (2 Pt 2) :E110-6.	The prognostic significance of human equilibrative nucleoside transporter 1 expression in patients with metastatic bladder cancer treated with gemcitabine-cisplatin-based combination chemotherapy.	Matsumura N, Nakamura Y, Kohjimoto Y, Inagaki T, Nanpo Y, Yasuoka H, Ohashi Y, Hara I.	泌尿器科
泌尿器科紀要 58巻2号 Page87-91 (2012. 02)	腹腔鏡下腎盂切石術を施行した馬蹄腎 の 1 例	佐々木有見子, 柑本 康夫, 西澤哲, 吉川 和朗, 南方良仁, 松 村永秀, 稲垣武, 原 敷	泌尿器科
泌尿器科紀要 57巻1号 Page43-47 (2011. 01)	尿路結石の概念を変える、治療・予防 法を変える メタボリックシンドローム と 尿 路 結 石 症	柑本康夫, 射場昭 典, 佐々木有見子, 原敷	泌尿器科

小計

16

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
耳鼻咽喉科臨床	成人急性中耳炎および急性鼻副鼻腔炎に対するLevofloxacin 500mg 1日1回投与の有用性に関する検討	山中 昇	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床	成人急性鼻副鼻腔炎のスコアリングシステムによる抗菌薬の有効性評価に関する検討 急性鼻副鼻腔炎に対するガレノキサシン (GRNX) の有効性評価	山中 昇	耳鼻咽喉科
Adv Otorhinolaryngol	Moving towards a new era in the research of tonsils and mucosal barriers.	Yamanaka N.	耳鼻咽喉科
Adv Otorhinolaryngol	Protection of pneumococcal infection by maternal intranasal immunization with pneumococcal surface protein A	Hotomi M	耳鼻咽喉科
Adv Otorhinolaryngol	Clinical scoring system of acute pharyngotonsillitis.	Togawa A	耳鼻咽喉科
PLoS One	Maternal immunization with pneumococcal surface protein A protects against pneumococcal infections among derived offspring	Kono M	耳鼻咽喉科
日本航空医療学会雑誌 11巻3号	和歌山県におけるドクターヘリ広域医療活動の問題点とその対策(解説)	岩崎 安博	救急集中治療部
臨床放射線, 56巻2号	緊急コイル止血塞栓不成功例の検討	米満 尚史	救急集中治療部
Intern Med. 2011;50 (4)	Late postprandial hypoglycemia due to bioactive insulin dissociation from autoantibody leading to unconsciousness in a patient with insulin autoimmune syndrome.	中尾 大成	救急集中治療部
Intern Med. 2011;50 (13)	A case of liver abscess caused by Edwardsiella tarda	中尾 大成	救急集中治療部
Case Rep Gastroenterol 2011;5 (2)	Successful treatment of protein-losing gastroenteropathy with steroid pulse and immunosuppressive therapies in a patient with sjogren syndrome	中尾 大成	救急集中治療部
癌と化学療法38巻1号	FOLFOX療法が奏効し根治切除が可能になった高度浸潤直腸癌の1例	山添真志	救急集中治療部
日本腹部救急医学会 雑誌31巻5号	診断および治療に腹腔鏡が有用であった腸管囊腫様気腫症の1例	川副友	救急集中治療部
日本外傷学会雑誌 25巻3号	ドクターヘリによる搬送で救命し得た腹部多臓器損傷の1例	上田健太郎	救急集中治療部
へき地・離島救急医療研究会誌, 11巻	県を越えたドクターヘリ運航で救命できた腸間膜損傷の一例	宮本恭兵	救急集中治療部
Invest Ophthalmol Vis Sci.	olvement in laser-induced choroidal n	Fujita N, Fujita S, Ogata N, Matsuoka M, Okada Y, Kon S, Ueda T, Saika S	眼科
J Cataract Refract surg.	Cell adhesion on explanted intraocular lenses part2:experimental study of a surface-modified ILO in rabbits.	Ishikawa N, Miyamoto T, Okada Y, Saika S	眼科

小計

17



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cataract Refract surg.	Cell adhesion on explanted intraocular lenses part1:analysis of explanted ILOs	ishikawa N, Miyamoto T, Okada Y, Saika S	眼科
AM J Pathol	TRpVI involvement in inflammatory tissue fibrosis in mice	Okada Y, Reinach PS, Shirai K, Kitano A, Kao WW, Flanchers KC, Miyajima M, Liu H, Zhag J, Saika S	眼科
Case Rep Ophthalmol Med	Histopathological features in a case of peters anomaly with acquired corneal staphyloma.	Shirai K, Okada Y, Nakamura Y, Saika S	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci.	Impaired angiogenic response in the cornea of a mice lacking tenascin.	Sumioka T, Fujita N, Kitano A, Okada Y, Saika S	眼科
臨床眼科	限局性強皮症に発症した小児ぶどう膜炎の1例	白井久美、岡田由香、藤田謙人、雑賀司珠也	眼科
臨床眼科	角結膜上皮内癌の組織学的検討	北野愛、白井久美、岡田由香、雑賀司珠也	眼科
眼科臨床紀要	強度近視患者の白内障手術での術後眼鏡装用と術後満足度	井上晃宏、宮崎賢一、石川伸之、岡田由香、雑賀司珠也	眼科
眼科臨床紀要	自傷によると思われる角膜障害の一例	小門正英、宮本武、	眼科
journal of oval maxillo facial surgery	Usefulness of myofacial flap without skin in contemporary oral and maxillo facial reconstruction.	和田 健	歯科口腔外科
European Journal of Histochemistry	Structure and function of the articular disc	木賀 紀文	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌	抜歯後出血を契機に判断された先天性第V因子欠乏症の1例	藪田 達雄	歯科口腔外科
Progress in Medicine Vol. 31 No. 5, pp1200-1206	がん疼痛治療の最新情報<オピオイドローテーションも含めて>	栗山 俊之	麻酔科
J Anesth 25:398-404	Sevoflurane inhibits angiotensin II-induced Rho kinase-mediated contraction of vascular smooth muscle from spontaneously hypertensive rat.	Uematsu N, Ogawa K, Tokinaga Y, Tange K, Hatano Y	麻酔科
Langenbecks Arch Surg 396:127-32	reduction of adhesion formation by an angiotensin type 1 receptor antagonist.	Tokinaga Y, Kimoto Y, Ogawa K, Mizumoto K, Tange K, Hatano Y	麻酔科

小計

14

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
PAIN 152:1358-1372	Sleepdisturbances in a neuropathic pain-like condition in the mouse are associated with altered GABAergic transmission in the cingulate cortex.	Narita M, Niikura K, Nanjo K, narita M, Furuya M, Yamashita A, Sacki M, Matsushima Y, Imai S, Matsushima Y, Imai S, Shimizu T, Asato M, Kuzumaki N, Okutsu D, Miyoshi K, Suzuki M, Tsukiyama Y, Konno M, Yomiya K, Matoba M, Suzuki T	麻酔科
Int J Obstet Anesth. Jan;20 (1) :76-9	Exacerbation of acetazolamide-responsive sodium channel myotonia by uterotonic agents.	Fujii K, Iranami H, hatano Y	麻酔科
Anesth Analg. May;112 (5) :1169-73	High-dose remifentanyl suppresses sinoatrial conduction and sinus node automaticity in pediatric patients under propofol-based anesthesia.	Fujii K, Iranami H, Nakamura Y, Hatano Y	麻酔科
Minerva Anesthesiol 77 :850-851	Modification of endotracheal intubation using AirwayScope videolaryngoscope for straight reinforced tubes.	Minonishi T, Kinoshita H, Hirayama M, Hatakeyama N, Matsuda N	麻酔科
Minerva Anesthesiol 77:938	Delayed hemopneumothorax resulting from a ventriculoperitoneal shunt procedure.	Minonishi T, Kinoshita H, Inoue M, Kawashima K, Yoshimura S	麻酔科
緩和ケア別冊 vol. 21 Suppl. Aug. 2011	軽度の痛みに対して、アセトアミンフェン、NSAIDsのどれを選ぶか？	月山 淑	麻酔科
臨床麻酔学会誌 ; 31 : 305-8	全身麻酔下開頭術後の顎下腺腫脹による気道狭窄に対し、外科的気道確保を必要とした1例	平井亜葵、丹下和晃、川嶋浩平、谷奥匡、畑埜義雄	麻酔科

計  
184

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 岡村 吉隆
管理担当者氏名	事務局長 塩崎 望

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課 医療情報部 薬剤部 各診療部門	平成22年4月以前のカルテ、X線写真等は、中央病歴部において集中管理、平成22年5月より、電子カルテが稼働しており、電子媒体により保存されている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	事務局総務課	
	高度の医療の実績	事務局医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	事務局企画研究課	
	高度の医療の研修の実績	事務局医事課	
	閲覧実績	事務局医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	事務局医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	事務局経理課 薬剤部	
項規第一号に掲げる第一項各号及び第九条の二十三第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全推進室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全推進室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全推進室	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び諸 の運営記録	規則第一条の十一 第一項各号及び第九 条の二十三第一項 第一号に掲げる体 制の確保の状況	院内感染対策のための 指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための 委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感 染対策のための研修の実 施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報 告その他の院内感染対策 の推進を目的とした改善 のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安 全な管理のための責任者 の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品 の安全使用のための研修 の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のた めの業務に関する手順書 の作成及び当該手順書に 基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のた めに必要となる情報の収 集その他の医薬品の安全 使用を目的とした改善の ための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用の ための責任者の配置状況	事務局経理課
		従業者に対する医療機 器の安全使用のための研 修の実施状況	事務局経理課 臨床工学センター
		医療機器の保守点検に 関する計画の策定及び保 守点検の実施状況	事務局経理課 臨床工学センター
		医療機器の安全使用の ために必要となる情報の 収集その他の医療機器の 安全使用を目的とした改 善のための方策の実施状 況	事務局経理課 臨床工学センター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び  
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 岡村 吉隆
閲覧担当者氏名	総務課長 北 順夫 医事課長 木村 眞也 医療安全推進室長 上田 恵子
閲覧の求めに応じる場所	医事課

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.8 %	算定期間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,739人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	15,124人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,921人	
	D: 初診の患者の数	28,340人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容： 安全で質の高い医療を提供するため、病院長の指揮のもとに、医療安全推進委員及びゼネラルリスクマネージャーならびにリスクマネージャーを中心に、職員総参加の下で、全職員一丸となって、附属病院における医療の安全管理対策に、積極的に取り組む。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容： 平成12年12月1日から「医療安全推進の新制度」をスタートさせて以降、医療安全推進委員会を月1回開催している。</p> <p>ア 医療の安全管理のための基本方針の策定に関すること。 イ 医療事故等の分析と安全管理に係る改善策に関すること。 ウ 医療安全推進のための職員研修等に関すること。 エ 職員総参加の医療安全推進に関すること。 オ その他、医療の安全確保と医療の質の向上に関すること。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 14 回
<p>・ 研修の主な内容： 平成23年度実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トピックス研修「モニターのアラームと安全管理について」（5月）</li> <li>・ 外部講師による講演「医療者と患者のより良き関係作り」（6月）2回講演</li> <li>・ 外部講師による講演「医薬品関連医療事故防止をめぐる最近の話題」（7月）</li> <li>・ DVD研修「医療安全とヒューマンファクターズ～チーム医療におけるノンテクニカルスキル～」（9月）2日間・8回上映</li> <li>・ 新人研修「KYT事例分析（グループワーク形式）」（10月）2日間</li> <li>・ 「リハビリと医療安全」（11月）2日間</li> <li>・ 中堅研修「KYT事例分析（グループワーク形式）」（12月）2日間</li> <li>・ DVD研修「患者確認は安全管理の第一歩」（1月）2日間・8回上映</li> <li>・ トピックス研修「院内の自殺予防」（2月）</li> <li>・ 外部講師による講演「ヒューマン・エラー，違反・隠蔽行動の本質を知り事故防止対策に役立てる」（2月）</li> <li>・ 「総括－各部門の医療安全の取り組み－」（3月）</li> <li>・ eラーニング「医療事故が起こりにくいシステムへ！FMEAを使いこなす」（6・7月）</li> <li>・ eラーニング「当院の医療安全管理体制－第1章－」（10月～1月）</li> <li>・ eラーニング「院内の麻薬の現状について」（1月～3月）</li> </ul> <p>○医療安全セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職務経験3年以上の医師対象CVC穿刺講習会「超音波ガイド下中心静脈穿刺の理論と手技」（5月）</li> <li>・ 看護師対象「抑制帯に関するセミナー」（7月）</li> <li>・ 研修医・看護師対象「鎮静薬の安全な取り扱いについて」（8月）2日間</li> <li>・ 研修医対象技能講習会「CVライン留置」（10月）</li> <li>・ 研修医対象技能講習会「気管内挿管」（11月）</li> <li>・ 研修医対象技能講習会「腰椎穿刺」（12月）</li> <li>・ 研修医対象技能講習会「胸腔ドレーン」（1月）</li> <li>・ 研修医対象技能講習会「骨折・脱臼の整復」（3月）</li> </ul>	

(様式第13-2)

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無	
・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全推進規程等に基づいて、院内報告制度を定め、積極的な報告の推進に努めている。 インシデントレポートの迅速かつ適切な分析等に努めるとともに、医療安全推進部内で、週1回定例事例検討会を行い、リスクマネージャー会議を通じて、事例の共有と改善策の周知徹底を推進している。 アクシデントレポートは、医療安全推進委員会で分析と安全管理に係る改善策等について検討協議を行うとともに、医療事故調査委員会での審議を必要とするものについては、随時、同委員会での審議を求めている。また、医療事故調査委員会開催の必要性を審議するため、医療安全審議会を設置している。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) ( 4 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) ( 8 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
・ 所属職員： 専任( 4 )名 兼任( 10 )名	
・ 活動の主な内容： ア 医療安全推進部の業務に関する企画立案及び評価 イ 医療安全に関する研修その他職員の意識向上に関する指導 ウ インシデントレポート及びアクシデントレポートの受理及び分析評価 エ 医療安全推進委員会及び医療事故調査委員会の運営に必要な事務 オ 診療録及び看護記録等の記載事項の確認と指導 カ 医療安全推進委員会で決定された改善策の実施状況、現状との整合性等についての検証に関する業務 キ その他医療の安全推進に必要な業務全般	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	(有) ・ 無

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>2 院内感染対策のための組織に関する基本事項</li> <li>3 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針</li> <li>4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6 患者に対する当該指針閲覧に関する基本方針</li> <li>7 その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li> </ol>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 感染症の予防に関すること</li> <li>2 感染症予防対策の部門間調整に関すること</li> <li>3 感染症に関連する検査報告、経過、原因の追跡調査及び整理分析に関すること</li> <li>4 感染症予防対策実施の教育、計画、指導及び勧告に関すること</li> </ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>新規採用職員 「感染管理」</p> <p>全職員対象 「結核について～診断・治療と感染対策」</p> <p>全職員対象 「適切な血液培養と実施方法」</p> <p>全職員対象 「インフルエンザについて～診断・治療と感染対策～」</p> <p>清掃担当 「感染対策の基本」</p> <p>全職員対象 「手洗い講習会」</p> <p>全職員対象 「感染経路別予防策 (DVD研修)」</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サーベイランスの実施 (耐性菌、針刺し・切創等血液曝露、医療器具関連感染、手術部位感染)</li> <li>・ 感染対策マニュアルの整備 (平成24年6月全面改訂)</li> <li>・ 院内巡回時のマニュアル遵守状況確認</li> <li>・ 薬剤耐性菌感染症判定と治療確認、血流感染症調査</li> <li>・ ICTwebの導入</li> <li>・ 医療情報システムによる情報共有 (各病棟の細菌検出状況レポート・無菌材料検出菌報告の配布、infection control newsの発行)</li> </ul>	



## 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容： 医療安全推進室と連携して取り組んでいる。</p> <p>①「医薬品関連医療事故防止をめぐる最近の課題」平成23年7月26日 講師：国際医療福祉大学病院 薬剤統括部長 土屋文人</p> <p>②「鎮静薬の安全な取り扱いについて」平成23年8月1日、8月9日 講師：薬剤部 麻薬・向精神薬担当者</p> <p>③「院内の麻薬の現状について」（e-ラーニング） 資料提供：薬剤部麻薬担当</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有 ・ 無)</p> <p>・ 業務の主な内容： 業務手順チェックリストにより確認し、改善が必要と思われる業務については当該部署と相談し、適宜改善策を検討している。また、手順書についても適宜見直しを行っている。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： ①医薬品・医療機器安全情報については、製薬会社MRからの情報提供の他、インターネットを利用した情報収集を積極的に行い、入手した情報についてはDIニュース等を定期的に発行し、周知を図っている。 ②定期的な情報以外に、緊急を要するものについては、随時情報提供を行う。 ③情報提供は、文書配布及び、電子カルテシステムのポータルサイトへの掲載を行っている。 ④緊急かつ重要な情報は、院内メールを活用し、医師をはじめとする医療スタッフに周知徹底を図る。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ シリンジポンプ・輸液ポンプの安全な使用方法</li><li>・ 除細動器の原理及び使用方法</li><li>・ 呼吸器の原理及び使用方法</li><li>・ 電気メスの原理及び使用方法</li><li>・ 電源設備の安全な使用方法</li><li>・ 人工心臓の原理及び使用方法</li></ul></li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画の作成 (有 ・ 無)</li><li>・ 保守点検の主な内容： 人工心臓・呼吸器・電気メス・除細動器・シリンジポンプ類などの制度及び電 氣的安全点検</li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を 目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容： 臨床工学技士だよりによるインシデント報告</li></ul>	